

町田市立
南大谷中学校



勝峰 夏 先生
町田市立南大谷中学校
教諭(第1学年)

●「身の回りにある職業を考えてみよう」

1年生では、まず「身の回りにある職業を考えてみよう」という課題があります。自分の身の回りにどのような職業があるのかについて書き出し、気づいたことをプリントにまとめます。朝起きてから夜寝るまでの1日を通して、自分の身の回りを見渡してもらい、働いている人を見て、その人がいい、どこで、何をしていたか、それが自分の目にどのように映ったかを書きます。楽しそうだったり、つらそうだったりいろいろなあると思います。保護者でも近所の方でも、学校内の人でも構

●職業レディネス・テスト

いません。

職業というものに気づき、どのようなものがあるかを知ってもらうのが狙いです。普段の日常では意識しないことを考えることで、職業への理解につながる第一歩になると思います。生徒は真剣に取り組んでいますね。

そして「職業レディネス・テスト」を実施します。生徒はさらに今まで知らなかった職業を知ることになり、「職業への気づき」が生まれます。

VRTのコンピュータ判定結果が返却されてくると、生徒が今まで頭の中ではんやりと描いていたものがデータとして視覚化されて、自分を客観視する一つの指標となります。ビジュアル

このテストの自分の結果にあまりとらわれないで、「我が道を行く」という生徒もいて、様々なリアクションが生まれるのが興味深いですね。「この仕事が気になるから調べてみよう」という生徒の思いを汲み取って指導していくことが大切だと思います。将来のこと、仕事のこと、進路のことを考えてもらうきっかけとなってくれば嬉しいですね。

続いて、V R Tの結果などを参考にしながら、夏休みの宿題として職業を一つ選び「職業新聞」を作成してもらいます。

テストを受けて生まれた気づきをどのように形にするかがポイントです。VRTを通じてインプットしたことをアウトプットするということです。選んだ職業について誰かに聞いたり、メディアを活用したりして情報を収集

的に見やすく表示されますので、とてもわかりやすいと思いますね。

また、「結果の見方・生かし方」のワークシートに各自で結果を記入します。WORK3の「仕事と職業の六角形」には多くの職業が記載されていて、生徒が初めて知る職業もあります。そこで「こんな仕事初めて知った」とか「お父さんの仕事が載っている」といった感想や「これはいつたい何の仕事なんだろう」という意識が芽生え、知らない職業を調べたりしていくことにつながります。



●町田市立南大谷中学校

所在地：東京都町田市南大谷985-1

創立：昭和50（1975）年

生徒数：506名（2022年4月現在）

●職業新聞 作成要領・準備等

2022.07.12

職業新聞を作成しよう

1年 組 番号 名前

- 目的
 - ・進路学習の一貫として、自分の興味のある職業について深く知る。
 - ・職業について調べることにより、将来への展望をもつ。
 - ・情報の整理、活用能力や表現、発表の能力を高める。
- 今後の予定
 - ・作成した新聞を廊下に掲示し、各クラスの最優秀作品と優秀作品を選出する。
 - ・各クラスで新聞の内容を基にした職業紹介を行い、その後学年での発表を行う。
- 提出日 夏休み中に作成し、始業式の日(8/29(月))に提出
- 作成の手順
 - ①職業の選び方
自分の興味のある職業やレディネステストで見つけた職業などから1つを選ぶ。
 - ②情報の集め方
I.身近な人にインタビューする（家族や親戚、近所のお店や知り合いなど）。
II.インターネットや本を利用して調べる。
(インターネットを利用する際には、信頼できるサイトを利用すること)
III.テレビのドキュメンタリーなどを視聴する。
これらを参考にし、信頼できる情報に基づいた新聞を作成しよう。
 - ③レイアウトを考える
表紙を利用して、レイアウトを考える。
その際、タイトルの位置、写真やイラストの配置など見やすくなる工夫をする。
 - ④記事を書く
記事の下書きをしてから、ペンで書き写す。
(効果的に色を使い、目を引く作品を作りましょう。)
- 注意事項
 - ①画用紙を縦長に使い、縦書きで記入する。1cmの線取りをする。
 - ②新聞名、学年、組、番号、氏名を見出しとして入れること。
 - ③職業新聞を作成後、自分の感想や考えを編集後記として入れること。
 - ④人を傷つけるような内容は書かないこと。
 - ⑤クロムブックを利用する際は、利用上の注意を守り、長時間利用しないこと。
 - ⑥イラストや写真が全体の1/3以上を占めないこと。

6. 下調べをしよう。

私が選んだ職業→

仕事内容	
必要な資格や試験 (ある場合は)	
↓ここから先は自分で気になることを調べよう (やりがいや将来のキャリア、私たちの生活とのつながりなど)	

(例)

見出し1 ○○○にならなは？	新聞
発行日 年・月・日 学年・クラス 番号 氏名	
見出し2	
見出し3	
編集後記・感想(コメント)	写真



●廊下に掲示された職業新聞

し記事にして、新聞としてレイアウトします。作成した「職業新聞」を2学期の始まりに提出してもらい、クラス全員でその新聞の内容を発表します。廊下の壁にも貼り出します。

保護者が就いている職業を選ぶ生徒が比較的多いようです。やはり身近だからでしょうね。CAや漫画家など、憧れの職業を選ぶ生徒もいます。

最後に「編集後記・コメント・感想」として、本人なりのまとめを記述させています。中には、「人の役に立って

いる仕事だから自分も人の役に立ちたいと思った」とか「働いている人とコミュニケーションを取りたい」という感想もありました。黙って働きぶりを見ているだけでなく、声をかけて実際の苦労や楽しさを聞いてみたくなったのだと思います。

クラス発表の後、各クラスから数人ずつ選び、学年全体で発表する場も設けています。情報を整理して紙面に効果的に表現し、人前で発表するといった能力を高めるための学習の一環にも

なっています。

本来でしたら2年時に職場体験があるのですが、残念ながらコロナ禍で実施できておらず、今年は様々な職業に就かれている方々を講師としてお迎えして、職業人インタビューを行いました。こうした一連の進路学習によって、生徒たちが仕事、職業について何らかの気づきを得て、自分自身で主体的に将来への展望を持てるようになってくれればよいと思っています。